



11月号 令和6年11月8日 発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
TEL(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

なぜ「学ぶ」？

～学ぶことの意義を考える～

校長 おおた さだはる 太田 禎治

今週の学校朝会で、先月発見された世界最大の素数の話をしました。その数字は「2の1億3627万9841乗-1」。素数はみなさんご存じ、1とその数自身しか約数を持たない数字で、無限に存在するといわれています。この数字がどのくらいかという約4100万桁。気が遠くなる数字です。発見者が世界17か国の有志とつないだコンピュータで導き出したそうですが、現時点で世界最大の素数は、私も含めて、朝霞四中生の、いや世界のほとんどの人にとってどうでもいい数字かもしれません。そもそもこの数字の発見が何かの役に立つのかというと、・・・考えてしまいます。

私は社会科の教師ですが、かつて歴史の授業の際に生徒が「今、自分が生きてもいない過去の時代を学んで何の役にたつのか」と発言したことがあります。私たちは何か物事の価値を考えると、「役に立つ」か「役に立たない」という視点で考えることが多くあります。では、生徒のみなさんが学校で受けている学習はどんな役に立つのでしょうか。「どんな役に立つ」をちょっと視点を変えて「どんな意義」があるのか、で考えてみましょう。

【中学生にとって学ぶことの意義】

① 夢をさがすため

さまざまな教科（分野）の学習に一生懸命取り組む中で、自分は何が好きで、何が得意で、何をするのが向いているのかを探すため。

② 自分の視野を広げるため

さまざまな教科（分野）の学習を通して、人としての「視野」が広がる。視野が広がればもしかしたらちょっとは「未来」が見えてくるかもしれません。

③ よりよく生きるため

ただ生きるだけでは人生は楽しくない。学びを通して、昨日できなかったことができようになる。よりよい明日を見つけ出す方法の一つとしての学習。

※より良い明日を目指すための学びは、学校を卒業しても、人生の幕が閉じるまでずっと続く。

最後に、学びの過程を通して「知的好奇心を満足させる」という視点についても触れておきます。目指す学校像に掲げた「生き生きと学ぶ」ということに関して「楽しむ姿勢」の大切さをお話しましたが、楽しむ姿勢の根本の一つが「知的好奇心」に他ならないと思っています。

本年度も残り半分。生徒の皆さんが、どんなことに知的好奇心をくすぐられるのか。さまざまな学習の中から一人一人が見つけ出してくれればよいなと思っています。